

2008年度 JEITAソフトウェア事業委員会セミナー

---

# ソフトウェア事業委員会活動の ご紹介

---

2008年7月10日

社団法人電子情報技術産業協会  
ソフトウェア事業委員会  
委員長 小川 研之

# 日本のソフトウェア産業に対する現状認識

- あらゆる産業分野でのソフトウェアの重要性の高まり
  - 企業のITシステム
  - ネットワーク
  - 組込みソフト 等々
- 一方、産業として抱える課題も多い
  - 増大する開発量への対応
  - グローバルでの競争力
  - 人材の確保 理系離れ、3K職場

# 本委員会設置の目的

わが国の産業を支える中核技術としてソフトウェアの果たす役割が一段と重要になっている一方で、ソフトウェア開発規模の増大や複雑化への対応、開発コストの低減、品質の確保や高度な技術を有する人材の育成等ソフトウェア業界が抱える課題も多い。このような状況を踏まえて、わが国ソフトウェア産業の国際競争力強化、事業基盤の確立、ソフトウェアリソース確保の観点から業界共通の課題を抽出し、必要な施策を提言する等、ソフトウェア業界の更なる活性化の推進を目的に2004年度より活動を開始した。

# 本委員会への参加企業

インタフェース

沖ソフトウェア

沖電気工業

シャープ

セイコーエプソン

東芝

東芝ソリューション

日本電気

日立製作所

富士ゼロックス

富士通

松下電器産業

三菱電機

三菱電機インフォメーションシステムズ

リコー

(2008年度の参加企業)

# 委員会組織構成

情報・産業社会システム部会

ソフトウェア事業委員会

事業委員長・日本電気 小川研之

ソフトウェア事業戦略専門委員会

委員長・東芝 田多井菊雄

ソフトウェア事業基盤専門委員会

委員長・日立製作所 福嶋慎一

ソフトウェアリソース対応専門委員会

委員長・三菱電機インフォメーションシステムズ 小林 博

धन्यवाद  
Hindi

Obrigado

Portugal

多謝

Duo xie  
Traditional Chinese

ขอบคุณ  
Thai

Dziekuje  
Poland

Thanks  
United States

Takk  
Norway

תודה  
Israel

Obrigado  
Brazilian Portuguese

Dakujem  
Slovakia

Tesekkür ederim  
Turclé

Tak  
Denmark

Gracias  
Spain

ありがとうございました

Japanese

감사합니다

Danke  
German

多謝

Duo xie  
Simplified Chinese

Dekuju  
Czech Republic

Merci  
France

Korean

நன்றி  
Tamil

شكراً  
Arabic

Grazie  
Italy

Tack  
Sweden

Jag tackar  
Finland

Dank u  
Belgium

Thank vous  
United Kingdom

Dankschen  
Austria

Bedankt  
Netherlands

Спасибо  
Russia

Engraziel  
Switzerland